

千早赤阪村立赤阪小学校 12月号  
令和元年(2019)11月27日



# あかさか 12月



## 「修学旅行」

～小学校生活の宝物になるように～

校長 春次 秀夫

10月31日、11月1日と6年生の修学旅行に付き添いとして同行しました。天候にも恵まれ予定通りのコースに行くことができました。場所は姫路、岡山方面で、少し遠いのですが、鷲羽山からみる風光明媚な景色あり、児童が喜んで買い物ができる倉敷美観地区、社会の学習になるサノヤス造船所等、多くの楽しみや学習がコースの中に詰まっています。

今年の6年生は、元気でバスの中のレクリエーションを楽しんだり、歌を歌ったり、児童がまとまって盛り上げ、みんな仲良く楽しんでいました。児童の作文を読んでも「もう全部が楽しかった。」「目標もバッチリ達成できた。」「こんな楽しい修学旅行が二日で終わって悲しいような気がする。」「今でも思い出すと笑ってしまう。」など、ほかほか言葉がならんでいて私も心が温かくなりました。

もう少し経つと6年生の児童は、卒業アルバムに載せる作文を書きます。その中には思いっきり楽しんだ修学旅行の思い出を綴る子がいると思っています。これからも行事や学習が続きますが修学旅行に負けない楽しい思い出を作って中学校へ巣立って欲しいと思っています。



日曜参観学習発表会にご来校いただき、ありがとうございました。

お忙しい中、日曜日の参観ありがとうございました。児童にとって多くの人の前で発表したりする機会は限られています。皆様の温かい雰囲気の中、日頃の学習の成果を発表できる場があることは、とても意義のあることだと思っています。

各学年、発表では音読・群読、歌、合奏、プレゼンテーションなど、それぞれの個性を生かして頑張りました。保護者の方々は、子どもたちの姿をどのような気持ちで見られたでしょうか。我が子の成長を感じていただいた方もいれば、ハラハラした思いで見守っていただいた方もいらっしゃったことでしょう。

私も子育ての時には、そんな思いで自分の子どもの授業参観を見ていました。子どもが授業参観する年を卒業した今、思うことは「子育ての時間は、長く感じて短かったな。そして、その時々の一瞬、一瞬が宝物だったな。」という事です。日曜日に貴重な時間を割いて来ていただいた保護者の皆様に、心身ともに成長した子どもさんの姿を見ていただき「宝物」の一つに加えてもらえれば、それは、学校としての喜びです。これからも今まで同様、児童の教育にご意見をいただくとともに教育活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

追伸  
参観後の準備物の片付けなど、ご協力ありがとうございました。



月	日	12月の行事	
1	日		
2	月	児童朝会 ⑥委員会(4年通常授業) かけ足 1年TV会議	自主勉強週間
3	火	かけ足記録会 (9:35~11:00)	
4	水	短縮4限 なかよし学級交流会 (山ゆり作業所・千早小吹台小) ところと体とくらしアンケート	
5	木	5年社会見学 (インスタントラーメン博物館他)	
6	金	6年バイキング給食 計算タイム	
7	土		
8	日		
9	月	かけ足記録会予備日	わんぱく班そうじ
10	火		
11	水	⑤地区別児童会 集団下校	
12	木	わんぱくタイム	
13	金	短縮校時 6年⑤租税教室	
14	土		
15	日		
16	月	学校安全の日 登校指導 6年③非行防止教室	
17	火		
18	水	短縮4限 個人懇談会 校庭開放(1:30~) 給食なし	
19	木	短縮4限 個人懇談会 校庭開放(1:30~) 給食なし 読み聞かせ①4年②2年③1年	
20	金	短縮4限 個人懇談会 校庭開放(1:30~) 給食なし	
21	土		
22	日		
23	月	給食終了(マイエブロン)6時間授業 読み聞かせ③6年④3年⑤5年	
24	火	終業式(ランドセル登校)	
25	水	冬季休業【1月7日まで】	
26	木		
27	金		
28	土		
29	日		
30	月		
31	火		



※12月の諸費振替日は12月9日(月)になっています。残高不足等にならないよう、よろしくをお願いします。

## 中学校職業体験



村立中学から職業体験に三人の生徒が来てくれました。写真は6年生の児童に中学校生活の様子を説明してくれている時のものです。6年のこどもたちも興味深かったようで真剣に聞き入っていました。わずか2日間ですが緊張の中、礼儀正しく朝の挨拶にも、はにかみながら参加してくれました。将来、自分がつきたい職業を見つける手がかりになって欲しいと思います。

## 交流給食



「ブロッコリーのつぶつぶは何？」という野菜を使ったクイズがあった交流給食。三択で①たね②つぼみ③はっぱ。子どもたちは迷いながら正解を考えていました。正解は②だそうです。いつもとは違う給食を楽しみながら食物に興味を持ったり、栄養を考える意欲が育つよう村全体で取り組んでいます。

